

福岡県

定数：14名

立候補者数：19名



氏名 松崎 哲治
氏名ふりがな まつざき てつじ
都道府県士会 福岡県
年齢 58
勤務先名称 夫婦石病院

日本理学療法協会活動歴

平成26年4月～現在 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成17年4月 福岡県理学療法士会 福岡支部 福岡1地区部長就任
平成21年4月 福岡県理学療法士会 福岡支部 支部長就任
平成25年4月 福岡県理学療法士会 理事就任
平成25年6月 福岡県理学療法士会 理事 支部局長就任
平成27年6月 福岡県理学療法士会 理事 社会局長就任・地域包括ケアシステム推進委員会委員長就任
平成29年6月 福岡県理学療法士会 理事 地域包括ケア推進局長就任
令和元年6月～現在 福岡県理学療法士会 副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

平成23年 専門領域研究部会 神経理学療法研究部会 部員就任
平成25年12月 日本神経理学療法学会 運営幹事就任
令和元年6月 日本小児理学療法学会 運営幹事就任
令和3年6月 日本小児理学療法学会 監事就任
令和4年6月 日本小児理学療法学会 理事就任
令和6年6月～現在 日本小児理学療法学会 監事

立候補の趣旨

福岡県の活動としまして、長きに渡り運営委員として関わり、その後地区部長・支部長・支部局長・社会局長・地域包括ケア推進局長を経て、現在、公益社団法人福岡県理学療法士会において副会長を務めて3期目になります。
また、これまで日本神経理学療法学会運営幹事を8年・日本小児理学療法学会運営幹事・監事・理事を6年務めました。
そして、代議員も6期勤めております。
これらの経験を生かし今後も代議員として日本理学療法士協会に携わり、更なる理学療法の質の向上に努めてまいりたいと思い、立候補いたします。
よろしく願いいたします。



氏名 音地 亮
氏名ふりがな おんじ まこと
都道府県士会 福岡県
年齢 42
勤務先名称 北九州市立医療センター

日本理学療法協会活動歴

2017～現在 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2015～2018 福岡県理学療法士会 部長・理事（学会部）
2019～現在 福岡県理学療法士会 部長（学術誌編集部）
2025～現在 福岡県理学療法士会 調査研究委員
2025 第34回福岡県理学療法士学会 大会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2021～現在 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 評議員
2022～現在 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 ガイドライン作成委員
2025～現在 日本呼吸理学療法学会 評議員
2025～現在 日本がん・リンパ浮腫理学療法学会 査読委員
血液腫瘍部会員、消化器がん部会員

立候補の趣旨

今回5期目の立候補となります音地亮（おんじまこと）と申します。
理学療法士を取り巻く環境は、変革の実行と検証の段階に入っています。制度や仕組みを「作る」だけでなく、「現場レベルでどう活かせるか」が今後の鍵となります。
診療報酬改定や医療・介護制度の見直しが続く中で、理学療法士の専門性や価値が十分に評価されているとは言い難く、労働賃金や働き方に課題を感じている会員も少なくありません。こうした中で、会員離れや組織率の低下が指摘されていますが、協会の取り組みや方針を現場にわかりやすく共有するとともに、会員の声を丁寧に汲み取りながら、双方向の関わりを深めていくことが重要だと考えています。会員と協会との距離感を少しでも縮める工夫や、関心を持ってもらうための具体的な行動・取り組みが、今まさに求められている段階です。
私は代議員として得た情報や知見、協会の今後の方針等を県士会・会員と情報共有し、行動に繋げていくことが福岡県全体としての組織力向上と、理学療法士一人ひとりの質の向上になると考えています。
微力ではありますが、変革期にある本会のさまざまな取り組みの一端を担うべく、立候補させていただきます。皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。



氏名 田中 創
氏名ふりがな たなか そう
都道府県士会 福岡県
年齢 47
勤務先名称 福岡整形外科病院

日本理学療法協会活動歴

2018年4月～2020年3月 公益社団法人日本理学療法士協会（代議員）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2019年4月～2021年8月 一般社団法人日本運動器理学療法学会（運営幹事）
2021年9月～2025年6月 日本筋骨格系徒手理学療法研究会（評議員）
2021年8月～現在 一般社団法人日本運動器理学療法学会（理事）

立候補の趣旨

この度、代議員に立候補した田中創と申します。私は臨床、研究、教育を横断しながら、理学療法に関連する学術的基盤の強化と専門職の社会的価値の向上に取り組んでまいりました。人口構造や医療政策の変化に伴い、理学療法士が対応すべき領域は拡大し、疾病構造の変化、地域包括ケア、職域の多様化、研究推進、専門職連携など、多くの課題と可能性を抱えています。

代議員の役割は、臨床現場で得られる知識とエビデンス、若手の成長機会、学術領域の発展、制度的な課題を協会の意思決定と適切に結びつけ、現場と制度を往復させる橋渡しにあると考えています。特に、専門領域の発展と標準化、研究文化の醸成、教育の質保証は、協会が継続的に取り組むべき大きなテーマであると認識しています。

そのうえで、代議員としては、理学療法の質と価値を高める議論に積極的に関与し、臨床現場から生じる問いや課題を協会の議論の場に適切に持ち込み、制度や学術領域の整備につなげたいと考えています。また、研究や教育の基盤整備を通じて、若手や中堅の理学療法士が専門性を高めやすい環境を構築し、専門職としての成長機会を確保することにも力を注ぎたいと考えています。さらに、理学療法士が関与すべき領域の拡張についても、複数の職域や他職種と連携しながら、エビデンスと社会的要請の両面から検討し、現場に実効性のある形で反映できるよう努めてまいります。



氏名 佐々木 圭太
氏名ふりがな ささき けいた
都道府県士会 福岡県
年齢 43
勤務先名称

日本理学療法協会活動歴

令和5年5月～（公社）日本理学療法士協会 国際活動協力者登録

都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和3年6月～令和6年3月（公社）福岡県理学療法士会 総務局組織部理事
令和4年11月～令和6年3月（公社）福岡県理学療法士会 選挙制度検討委員
令和6年4月～（公社）福岡県理学療法士会 事務局管理部理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

令和元年の理学療法士の需給推計では、右肩上がりの供給量に対し需要量が大きく下回るとの見通しが示されている。しかし、文科省の推計では大学進学者は令和12年に減少に転じることが示されているのに加え、養成校の近年の状況から理学療法士を志す人は減少傾向と思われ、供給推計の見直しは急務と考える。協会が掲げる組織率向上は確かに重要な課題だが、真に組織力ある職能団体にするには、理学療法士という職種の裾野を広げることにも目を向ける必要がある。そのため、①様々なニーズが予想される将来の理学療法士の担い手を増やすため、職業的価値や魅力を発信し、量的にも十分な理学療法士を育成すること、②理学療法士の潜在的ニーズを掘り起こすとともに、理学療法士が輝けるフィールドを引き続き創出していくこと、の両輪が必要である。理学療法士の質に目を向けると、現行の生涯学習システムでは登録・認定・専門理学療法士が育成され、質を高める制度設計がなされている。一方で各理学療法士に目を向けると、自分なりの目標に向け生涯にわたる理学療法キャリアの発達を果たせる体制は未だ整っていないと感じる。養成校で同じ知識や考え方を学び、同じ試験で同じ資格を取得することは、理学療法士間の資質のばらつきを抑え標準化するうえでは有効である。しかし、理学療法士1人ひとりの働き方やキャリアまでもが標準化、画一化される必要はなく、各理学療法士の価値観に基づいた社会貢献のしかたや働きかたが模索されてよいと感じる。キャリア発達は正解のない問いの連続であり、無数に広がる選択肢から主体的に構築されるのが望ましい。多様な価値観が尊重される時代だからこそ、それぞれが思い描くキャリアを築けるしくみ作りが求められていると感じる。1人ひとりの理学療法士がやりがいと生きがいを持って職務に当たることは、理学療法士が関わるすべての人の健康と福祉に寄与することに他ならない。代議員の役を拝命した際には、さまざまな課題について執行部とともに考えていきたい。



氏名 鈴木 裕也
氏名ふりがな すずきゆうや
都道府県士会 福岡県
年齢 43
勤務先名称 製鉄記念八幡病院

日本理学療法協会活動歴

2020年4月～日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年1月～2021年6月 福岡県理学療法士会代議員
2019年6月～2025年6月福岡県理学療法士会学術局学会部部長
2025年6月～福岡県理学療法士会理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2019年4月～日本栄養・嚥下理学療法学会 運営幹事
2023年4月～日本栄養・嚥下理学療法学会 副理事長

立候補の趣旨

このたび、次期代議員改選にあたり、引き続き福岡県代議員に立候補します製鉄記念八幡病院の鈴木裕也です。これまでの2期4年間、私は福岡県代議員として、会員の皆様の声を協会運営に反映させることを第一に活動をしてまいりました。特に総会においては、現場で働く立場および自らの県士会活動や連合学会での活動を通じての疑問点や課題を積極的に提起し、多くの質問や意見を通じて、PT協会執行部と会員をつなぐ役割を果たすことを意識してきました。協会運営によせた質問数や意見交換の数は福岡県の代議員の中でもトップクラスと自負しています。なぜ私がそのように行動するかというと、皆が好きでなった理学療法士という仕事に誇りを持てるように、協会離れが進む近年において、現場の理学療法士が何を必要としているのかを総会での意思決定の場に届けることが、県の代表である代議員としての重要な責務であると考えているからです。

また、私自身の活動としては、県士会では、学会企画部の部長として長年、学会の企画・運営に深く関わり、職種の学術的基盤を強化するための体制づくりに取り組んでまいりました。

今後は、これまでの経験を生かし、本職種の地位向上と活動領域のさらなる拡大に向けて、より一層尽力したいと考えています。現場の声、若手の意見、地域の課題を丁寧に拾い上げ、協会全体の発展につなげていく所存です。

これら福岡県の活動も含めて引き続き、皆様の声を中央に届ける代議員として活動する機会を与えていただけたら幸いに存じます。よろしくお願いいたします。



氏名 久保田 勝徳
氏名ふりがな くぼたかつのり
都道府県士会 福岡県
年齢 36
勤務先名称 桜十字福岡病院

日本理学療法協会活動歴

令和4年～現在 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成29年～平成31年 福岡県理学療法士会 代議員
平成29年～令和1年 福岡県理学療法士会 部長
令和1年～現在 福岡県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和3年 第4回日本神経理学療法学会SIG参加型フォーラム 準備委員長
令和3年 九州理学療法士学会学術大会2022 in福岡 学術局企画部部長
令和3年～現在 日本支援工学理学療法学会 評議員
令和3年～現在 日本支援工学理学療法学会 広報委員
令和4年～現在 日本神経理学療法士学会 評議員
令和5年 第22回日本神経理学療法学会学術大会 運営局長
令和6年～現在 日本神経理学療法学会 地方会福岡 代表

立候補の趣旨

私は、2021年度より日本理学療法士協会の代議員を務め、協会からの情報収集に努めるとともに、その内容を県士会事業へ反映してまいりました。
県士会事業においては、これまで主に学会や研修会事業に携わってまいりましたが、今年度より総務・財務担当理事を拝命したことで、より多くの会員の皆様のご意見を把握し、県士会運営に反映できる立場となりました。
近年、会員の価値観やライフスタイルは多様化しており、特に子育て世代や若い世代の声を、県士会だけでなく協会にも的確に届けていくことが、これまで以上に重要であると考えております。その中で、代議員の果たす役割は一層大きなものになっていると認識しております。
これまでの経験を活かし、会員の皆様の声を協会へ確実につなげていくため、引き続き代議員に立候補いたしました。
何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 松垣 竜太郎
氏名ふりがな まつがきりゅうたろう
都道府県士会 福岡県
年齢 37
勤務先名称 産業医科大学

日本理学療法協会活動歴

イオン就労支援事業運営部会部会員（2024年1月－2024年6月）
日本理学療法協会代議員（2024年6月－現在）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

公益社団法人福岡県理学療法士会理事（2019年6月－2023年5月）
公益社団法人福岡県理学療法士会調査研究委員会委員長（2025年11月－現在）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

日本産業理学療法研究会評議員（2020年7月－現在）
日本産業理学療法学雑誌編集委員（2024年7月－現在）
第9回日本産業理学療法研究会学術集会準備委員長（2025年12月－現在）
日本予防理学療法学会評議員（2021年9月－現在）
日本予防理学療法学雑誌編集委員（2022年9月－現在）

立候補の趣旨

2011年に専門学校九州リハビリテーション大学を卒業後、産業医科大学病院にて理学療法士として臨床に携わる傍ら、大学院に進学し、修士（産業衛生学）および博士（医学）の学位を取得しました。2020年からは臨床の現場を離れ、主に労働者を対象とした、公衆衛生・予防医学的視点からの研究および実践に従事しています。その中で、理学療法士の専門性は医療・介護機関内にとどまらず、地域・職域における健康づくりの分野において、より一層発揮されるべきであると強く感じています。超高齢社会の進展に伴い、就労世代から高齢期に至るまで、働くことと生活を支える健康支援の重要性はますます高まっています。とりわけ、就労継続支援、労働災害予防、プレゼンティーズム対策といった課題に対し、理学療法士が関与する意義は大きいと考えます。一方で、こうした分野における理学療法士の活動は、いまだ十分とは言えず、さらなる展開が求められています。代議員は、現場で活動する会員の声を協会の意思決定に反映させる重要な役割を担っています。そこで私は、研究と実践の双方に携わってきた立場から、予防・公衆衛生・産業保健の視点を協会の施策や事業に適切に位置づけること、また理学療法士の新たな活躍の場の創出に向けた議論を促進することに貢献したいと考えています。



氏名 玉利 誠
氏名ふりがな たまりまこと
都道府県士会 福岡県
年齢 50
勤務先名称 令和健康科学大学

日本理学療法協会活動歴

平成20年 第43回日本理学療法学会 準備委員
平成30年 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

令和01年 福岡県理学療法士会 学術局 学術研修部 部長
令和02年 福岡県理学療法士会 代議員
令和03年 福岡県理学療法士会 学術局 学会部 部長
令和03年 第30回福岡県理学療法士学会 学会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

平成27年 第12回日本神経理学療法学会学術集会 準備委員長
平成29年 日本神経理学療法学会 運営幹事
令和03年 日本神経理学療法学会 理事
令和03年 日本支援工理学療法学会 評議員
令和03年 第4回日本神経理学療法学会SIG参加型フォーラム 集会長
令和06年 第22回日本神経理学療法学会学術大会 大会長
令和07年 日本理学療法教育学会 評議員
令和07年 日本理学療法教育学会 理学療法教育ガイドライン委員会 班員

立候補の趣旨

私はこれまで代議員を4期務めさせて頂きました。代議員は福岡県理学療法士会会員の皆様により選出された代弁者であるという意識のもと、周囲の会員の意見を聴取し、定時総会における様々な議案について投票を行うとともに、様々な情報を還元できるよう努めて参りました。

めまぐるしい医療情勢の中、理学療法士が責任ある医療職として諸課題に対応していくためには、会員と日本理学療法士協会との協働がより一層必要となると思います。また、そのためにも、会員と日本理学療法士協会の架け橋となる代議員の役割は重要であると考えます。

会員、患者、社会にとって、より良い医療が提供される未来の環境整備に努めるべく、引き続き立候補いたしました。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 遠藤 正英
氏名ふりがな えんどう まさひで
都道府県士会 福岡県
年齢 43
勤務先名称 桜十字福岡病院

日本理学療法協会活動歴

2024. 6～ 日本理学療法士協会 代議員
第61回日本理学療法学会学術研修大会 in 福岡 準備委員長

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2015. 4～2017. 4 福岡県理学療法士会 学会部 担当部長
2017. 6～ 福岡県理学療法士会 理事
2023. 6～ 福岡県理学療法士会 副会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2021. 6～ 日本支援工学理学療法学会 理事
2025 第14回日本支援工学理学療法学会学術大会 大会長
2024. 6～ 日本支援工学理学療法学会 副理事長

立候補の趣旨

私は、理学療法士一人ひとりが誇りとやりがいを持ち、安心して働き続けられる環境を実現したいという思いから立候補いたしました。
これまで臨床現場において、多様な場面で理学療法に携わる中で、理学療法士が果たす役割の重要性と可能性を強く実感してきました。一方で、現場の努力や工夫が制度や方針に十分反映されていないと感じる場面も少なくありませんでした。現場の声と協会の意思決定との間に、まだ埋めるべき距離があると考えています。
代議員は、協会の方針や運営に会員の意思を反映させる重要な役割を担っています。私は、日々の臨床や教育、組織運営で得た経験を基に、現場の実情や課題を正確に協会へ届けるとともに、協会の議論や方向性を分かりやすく会員の皆様へ伝える「双方向の橋渡し役」として責任を果たしたいと考えています。
今後、医療・介護・地域を取り巻く環境は大きく変化していきます。その中で理学療法士が社会から求められ、選ばれ続ける専門職であるためには、現場に根ざした実効性のある施策と、将来を見据えた視点の両立が不可欠です。
協会は会員一人ひとりのものです。皆様の声を大切にし、理学療法士の未来につながる議論と提案を行っていく所存です。ご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



氏名 近藤 直樹
氏名ふりがな こんどうなおき
都道府県士会 福岡県
年齢 51
勤務先名称 福岡県理学療法士会

日本理学療法協会活動歴

平成28年度～ 代議員
令和5年度 士会支援事業運営部会部会員
代議員ネットワーク検討部会委員
士会支援対策検討部会構成員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成19～20年度 北九州1地区部長
平成20～24年度 北九州支部長
平成25～26年度 理事（支部担当、総務部担当）
平成27年度～令和4年度 理事（事務局長）
平成29～30年度 倫理委員会委員長
令和元年度～ 組織検討委員会委員長
令和5年度～ 専務理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

昨今、理学療法士の活動領域は医療分野だけでなく、地域支援、産業保健、学校保健、スポーツ、災害支援活動など更なる拡がりをみせており、国をはじめ各団体が理学療法士に対する期待やその役割について注視しています。そのため、その期待や要請に即応できる体制を構築し、我々理学療法士の存在価値をアピールしていくことが重要となります。現在、福岡県理学療法士会にて専務理事を拝命しておりますが、これからも日本理学療法士協会と福岡県理学療法士会の今後の進展と発展の一翼を担えるよう尽力する次第であります。どうぞご支援のほどよろしく願いいたします。



氏名 吉田 純一
氏名ふりがな よしだ じゅんいち
都道府県士会 福岡県
年齢 40
勤務先名称 青洲の里訪問リハビリテーション

日本理学療法協会活動歴

2025年 日本理学療法士協会代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年 学術局 学会部 部長
2019年 学術局 学会部 理事
2021年 学術局 教育研修部 部長
2024年 事務局 学術推進部 部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2024年 日本予防理学療法学会選挙管理委員会 委員
2025年 同 副選挙管理委員長
2025年 第12回日本予防理学療法学会学術大会 学術企画局長

立候補の趣旨

この度、二期目の再選を目指して立候補いたしました吉田です。私は現在、訪問理学療法の現場で、利用者様が住み慣れた地域で自分らしく暮らすための支援を行っております。一期目の活動を通じ、現場の皆さんの切実な声をしっかりと協会へ届ける架け橋になりたいと強く感じています。特に力を入れたいのは、以下の三点です。

1. 納得できる処遇改善と賃上げの実現 物価高が続く中、私たちの年収は全産業平均より約58万円も低く、改善も限定的です。私は、協会が掲げる「リハ料の10%引き上げ」を全力で支持します。それが単なる経営支援に終わらず、現場で働く皆さんの給与にしっかりと反映される「真水」の政策となるよう、代議員として後押ししていきます。

2. 地域連携の力で「健康の好循環」を 退院直後の訪問リハには、要介護度の悪化を30%抑え、半年で約107万円もの医療・介護費を減らす素晴らしい力があります。この価値を社会に示し、再入院の不安がない「健康の好循環」を地域全体で創ることを目指します。

3. 未来を守るための組織・法律の改革 60年変わらない身分法を時代に即したものに直視し、厚労省内への「リハビリテーション課」新設を後押しします。現場の知見が直接国の政策に活かされる未来を築きます。

訪問の視点を活かし、皆さんが誇りを持って活躍できる環境づくりのため全力を尽くします。よろしく願いいたします



氏名 西浦 健蔵
氏名ふりがな にしうら けんぞう
都道府県士会 福岡県
年齢 55
勤務先名称 甘木中央病院

日本理学療法協会活動歴

2014年6月～代議員（現在に至る）

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2005年4月	筑後1地区部長	2007年4月	筑後支部長
2009年4月	支部担当理事	2011年4月	支部担当理事
2013年6月	総務局長	2015年6月	会長（現在至る）

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

私はこの度、代議員に立候補させていただきました西浦健蔵です。理学療法士が社会・地域から選ばれる職種となるために、福岡県理学療法士会と全国の都道府県理学療法士会ならびに日本理学療法士協会が、これまでの実績に自信を持ち、あらゆる保健・医療・福祉分野における理学療法士のさらなる発展のため、今まで以上に連携し結束する必要性あると思います。日々研鑽を積む理学療法士の社会的地位の向上のために、約21年間の福岡県理学療法士会役員の実験を活かし、代議員として連携と結束に精一杯務めさせていただきたいと考えております。どうぞ、よろしく願いいたします。



氏名 上川 健悟
氏名ふりがな かみかわ けんご
都道府県士会 福岡県
年齢 52
勤務先名称 北九州古賀病院

日本理学療法協会活動歴

平成29年4月～令和2年3月	日本理学療法士協会	代議員
令和4年4月～令和6年3月	日本理学療法士協会	代議員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成16年4月～平成19年3月	福岡県理学療法士会	事務局総務部長
平成19年4月～平成25年3月	福岡県理学療法士会	事務局財務部長
平成25年4月～令和4年3月	福岡県理学療法士会	総務局財務部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

日本理学療法士協会に30年以上所属し福岡県理学療法士会の部長職を18年
また日本理学療法士協会代議員も6年勤めさせて頂きました。
物事を動かすには「継続は力なり」と考え、心も体も前向きな言動を意識しております。
立候補の趣旨は、私自身が事務職へ転籍し3年半経過しまして
下記3つを強く感じております。
①インフレ時代の病院経営は非常に厳しい事
②他の医療職と比べて理学療法士はマネジメント力が高い事
③理学療法士は非常に真面目で患者さんに対する対応（接遇）力が高い事
そんな理学療法士の仲間を今まではど真ん中で引張ってきましたが、
これからは他職種から側面的に支援をしていきたいと考え、
再度立候補した所存でございます。
日本理学療法士協会代議員総会時も皆様の代表として各議案に対し、
忝く真摯に是非の判断をして参ります。
最後に理学療法士として「誇り」と「安心」を持って日々の診療をして頂く事が
「患者さまにとっての幸せ」へ繋がると思いは職種が違えども変わりございません。
そのために皆様のご協力を頂きながら、
これからも鋭意邁進して参りたいと思っております。
日本理学療法士協会の発展と会員皆様のWell-beingを切に願っております。
以上、簡単ではございますが立候補の趣旨説明とさせて頂きます。
選任して頂ければ、しっかり働きます。ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



氏名 善明 雄太
氏名ふりがな ぜんみょう ゆうた
都道府県士会 福岡県
年齢 38
勤務先名称 福岡脊椎クリニック

日本理学療法協会活動歴

2022年－現在 : 日本理学療法士協会 代議員／常勤役員要件審査委員会

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2019年－2020年：選挙管理委員 副委員長
2019年－2021年：学術局学会企画部 部長
2021年－現在 : 福岡県理学療法士会 理事
第103回・第104回福岡県理学療法士会学術研修大会 大会長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

2021年－現在 : 日本理学療法教育学会 評議員、査読者
2022年－現在 : 理学療法教育 編集委員

立候補の趣旨

会員の皆様のお力添えにより理事や代議員等をさせていただき、大変感謝しております。私は今まで総会では必ず毎回質問をし、会員ファーストの意見を伝えていきます。そこで、会員のために改善するべきことに気付きました。会員の声を反映できていない部分があり、水準を上げるための環境や制度の整備が不十分であると感じています。物価高で大変ななか会費を払っていただいている会員の皆様に、1つでも多くのメリットを感じれる協会になるように私は声をあげていきます。そのために以下のことを実現していきたいと考えております。

- ・会員の声を届ける（特に若い会員声）
- ・専門資格等を取得しているモチベーションが高い会員に対する活躍場面の提供
- ・発達したオンライン化を生かし、学習しやすい環境作りの促し
- ・住んでいる場所、家庭環境の影響を大きく受けることなく研修会受講、認定等の資格取得が出来るための促し
- ・多くの会員が講師、学会・論文の査読や座長等が出来るようなシステム構築の促し

これらを実現するために大学院、今までの仕事や活動で学んだことを活かしていきます。学ぶことのできる機会が多い協会にしていきたいと思っております。若い理学療法士が続けたいと思える業界や組織にしていくべきだと考えています。若輩者ではありますが、会員のための理学療法士協会になるように精進していきます。ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。



氏名 西村 天利
氏名ふりがな にしむら たかとし
都道府県士会 福岡県
年齢 40
勤務先名称 飯塚病院

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年～2024年 福岡県理学療法士会 地域包括ケア推進局 筑豊地区部長
2024年～現在 福岡県理学療法士会 北九州ブロック 保健福祉部部長

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

- 【経営視点と現場感覚で、協会の意思決定に貢献する】
- 代議員としての責務：確かな判断力
代議員の最大の責務は、総会における議決権の行使と、協会運営への監視・提言です。これらを行くためには、財務状況や事業計画を正しく読み解くリテラシーが不可欠です。私は2026年度より大学院にて医療経営管理学（MHA）を専攻し、組織マネジメントと医療政策を体系的に学びます。
「何となく賛成」するのではなく、データと経営学的根拠に基づき、会員の利益になるかを厳正に判断できる代議員を目指します。
 - 現場と中央をつなぐパイプ役
2017年より福岡県士会（筑豊地区・北九州ブロック）の役職を務め、地域課題の解決に奔走してきました。
その中で感じた「現場の閉塞感」や「制度への要望」を、代議員として協会へ直接届けます。
また、協会の決定事項を現場に分かりやすくフィードバックし、透明性の高い組織づくりに貢献します。
 - 次世代への投資
臨床実習指導や人材育成の経験を活かし、若手が希望を持てる教育体制や職域拡大についても積極的に発言してまいります。
「現場を知る臨床家」としての情熱と、「組織を動かす経営」の視点。
この両輪で、理学療法士の未来を守り、発展させるために全力を尽くします。



氏名 山内 康太
氏名ふりがな やまうち こうた
都道府県士会 福岡県
年齢 43
勤務先名称 製鉄記念八幡病院

日本理学療法協会活動歴

2016年～ 日本理学療法士協会 代議員
2018年 日本理学療法士協会 呼吸理学療法 システマティックレビュー 委員

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2009～2012年 北九州2地区運営委員
2013～2016年 北九州2地区部長
2017～2023年 福岡県理学療法士会 理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

近年、急速に進化するICT技術により、学習方法の多様化や最新知見に関する情報収集が容易となりました。これらの変化は生涯学習システムにも一部反映されていますが、一方で、情報が氾濫する中において、正確かつ適切に情報を整理し、必要な情報を選択する能力がこれまで以上に求められています。そのため、生涯学習システムにおいては、単なる座学による知識の教授にとどまらず、臨床や実践に応用するための思考過程も含めて学ぶ場として、さらなる改変が必要であると考えています。

また、協会が定める認定資格制度については、制度自体は階層化され、ラダー制度として活用可能であると考えられるものの、現時点では十分な付加価値が確立されておらず、会員が積極的に取得を希望する資格とはなっていない状況があります。その結果、会員と協会との間にギャップが生じていると感じています。

これらの課題は、理学療法の臨床や研修に限らず、医療を取り巻く社会情勢においても共通するものであり、変化する情勢に対して適切な対策を講じるためには、会員の意見を尊重しながら対応していくことが重要です。そのためには、協会・県士会・会員の三者が連携し、相互に情報や目標を共有する体制が不可欠であると考えます。

これにより、協会の事業はより効果的かつ持続可能なものとなり、本邦における理学療法の発展に寄与し、その成果が会員の皆様へ還元されるものと期待されます。

さらに、会員の価値観が多様化する中で、協会および県士会に対する帰属意識の希薄化は進行しており、大きな課題となっています。私はこの課題に正面から向き合うため、代議員に立候補し、会員の皆様の意見を丁寧に集約し、協会の事業へ具体的に反映させることを目指しております。皆様方のご支援を、心よりお願い申し上げます。



氏名 廣滋 恵一
氏名ふりがな ひろしげ けいいち
都道府県士会 福岡県
年齢 53
勤務先名称 九州栄養福祉大学リハビリテーション学部

日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会 代議員 (H26～H31)
日本理学療法士協会 組織・規則等WG (H28～H29)
日本理学療法士協会 臨床実習の手引作成委員会委員長 (R1～R3)
日本理学療法士協会 指定規則等検証部会 (R2～R3)
日本理学療法士協会 卒前卒後教育シームレス化検討部会 (R2～現在)
日本理学療法士協会 指定規則等検討部会 (R3～現在)
日本理学療法士協会 代議員 (R6～現在)

都道府県理学療法士(協)会活動歴

福岡県理学療法士会 理事(事務局・学術局) (H19～現在)
福岡県理学療法士会 副会長 (R1～現在)
福岡県理学療法士会 北九州ブロック長兼務 (R6～現在)

学会連合及び同連合会員団体活動歴

日本予防理学療法学会 運営幹事 (H26～R2)
日本予防理学療法学会 理事 (R2～現在)
日本予防理学療法学会雑誌 編集委員会 (R2～現在)
日本理学療法学会連合 機関誌調整委員会委員 (R2～現在)

立候補の趣旨

福岡県理学療法士会(県士会)の理事として運営に携わり、今年で10期(20年)を迎えます。
これまでに、県士会会員の組織力、会員数、学術研鑽などは段階的に成長し、公益法人として自治体との連携も強くなってきました。
このような県士会の継続的な発展には協会との連携が不可欠です。今後も県民への貢献と県士会会員の要望に応えること、職能団体としての要望を協会を通じて国や社会に訴えかけることが組織間連携に重要と考えています。
協会代議員として引き続き継続のご支援を頂きますようよろしくお願いいたします。



氏名 嶋邨 亮
氏名ふりがな しまむら りょう
都道府県士会 福岡県
年齢 45
勤務先名称 社会医療法人青洲会 介護老人保健施設 青洲の里

日本理学療法協会活動歴

都道府県理学療法士（協）会活動歴

2004年～2010年	福岡県理学療法士会	福岡東区運営委員
2009年～2012年	福岡県理学療法士会	新人教育部 部長
2013年～2016年	福岡県理学療法士会	教育部 部長
2017年～2024年	福岡県理学療法士会	教育研修部 部長
2024年～現在	福岡県理学療法士会	保健福祉部 部長
	福岡県理学療法士会	代議員

学会連合及び同連合会員団体活動歴

立候補の趣旨

この度、日本理学療法士会代議員選挙に立候補いたしました、介護老人保健施設 青洲の里の嶋邨 亮と申します。

私は理学療法士としての専門性を基盤に、介護老人保健施設において相談員という立場で、入退所支援、在宅復帰支援、地域連携業務に携わってまいりました。

その経験を通じ、理学療法士は「動作・機能の専門職」とどまらず、生活全体を捉え、制度や地域資源をつなぐ役割を担える職種であると強く実感しております。

現在、地域包括ケアシステムの深化や医療・介護制度改革が進む中で、理学療法士には医療分野のみならず、介護・福祉・生活支援・地域づくりの場において、より多様な役割が求められています。

そのためには、相談支援やマネジメント、多職種連携、地域調整といった分野への職域拡大を、全国の現場実践に基づき、日本理学療法士会として発信していくことが重要であると考えます。

代議員として、全国の会員の皆様の声を日本理学療法士会の議論に反映させるとともに、理学療法士の新たな可能性と社会的価値を高めるための施策や方針づくりに積極的に参画してまいります。

現場で培ってきた経験をもとに、理学療法士が医療・介護・福祉・地域社会の中で、より一層必要とされる専門職となるよう尽力していく所存です。

何卒ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 齊藤 貴文
氏名ふりがな さいとう たかふみ
都道府県士会 福岡県
年齢 46
勤務先名称 令和健康科学大学

日本理学療法協会活動歴

令和2年～現在 (社) 日本理学療法士協会 代議員

都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成20年～25年	(社) 福岡県理学療法士会	福岡1地区運営委員
平成25年～31年	(社) 福岡県理学療法士会	福岡1地区部長
平成29年～令和3年	(社) 福岡県理学療法士会	代議員
令和5年～現在	(社) 福岡県理学療法士会	福岡ブロック理事

学会連合及び同連合会員団体活動歴

令和7年～現在 日本予防理学療法学会 評議員

立候補の趣旨

私は、日本理学療法士協会「福岡県」の代議員として、日本理学療法士協会の動向や決定事項、ならびにそれらが示す方向性や背景を正しく理解し、福岡県の会員の声を協会の意思決定の場に適切に反映させる役割を担いたいと考えております。

現在、福岡県理学療法士会は新体制の下、新たな施策を打ち出し、社会や医療・介護を取り巻く環境の変化に即したあり方を模索しています。理学療法士を取り巻く状況が大きく変化する中で、職能として「今の時代に何が求められているのか」、そして「今後、持続的に必要とされるために何が必要なのか」を常に考え、議論していくことが重要であるとと考えています。

代議員として、協会の方針や制度改正の趣旨を理解するだけでなく、その内容を福岡県の会員へ丁寧に共有するとともに、現場や地域の実情を踏まえた意見を協会へ届ける、双方向の役割を果たしていきたいと考えております。

また、福岡県理学療法士会の理事として、旧体制に依存することなく、自らの意志のもと仲間とともに行動し、次の世代へ引き継ぐことのできる県士会づくりを進めていきたいと考えています。これらの取り組みを通じて、理学療法士業界全体の発展に貢献する所存であり、代議員として立候補いたしました。